

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区千石3丁目131
施設名	カメラキッズ千石園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

英語の音とことば

〈テーマの設定理由〉

子どもたちは歌や手遊び、絵本の読み聞かせなどを通して、音やリズムに興味を示す姿が見られた。保育者や友だちのまねをして声に出すなど、ことばを楽しむ力も育ってきていた。こうした様子をふまえ、本テーマでは英語特有の音やリズムに触れ、日本語との違いに気づきながら、ことばそのものへの興味を深めることをねらいとした。英語の音を「聞く・まねる」体験を大切に、正確さよりも表現する楽しさを感じられる活動を行った。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・毎日実施

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

英語の歌や音楽教材・食べ物や人形などの身近なもののフラッシュカード・英語絵本・スピーカー・活動記録用のカメラ、記録用紙

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

英語特有の音やリズムを大切にし、ゆっくりとした語りかけや繰り返しのある表現を用いて活動を行った。子どもが聞く・まねる体験を通して、英語の音そのものに興味をもてるようにした。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

英語の音を聞いて口を動かしたり、声を出そうとする姿が見られ、繰り返し同じ音に触れる中で少しずつ反応を示していた。0歳児クラスの子どもたちも喃語や簡単な発声で「アー」「ウー」とまねをしようとする姿もあり、興味をもって関わる様子が見られた。子ども同士では、一人が声を出すとそれに気づいた別の子が同じように声を出し、互いに刺激を受けながらやりとりが広がっていた。また英語講師や保育者との関わりの中では、英語講師や保育者の口元をじっと見つめて発音をまねしようとしたり、優しい声かけに安心して表情を和らげる姿が見られ、英語の音やリズムに親しみながら関わる姿が育っていた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

英語特有の音やリズムに触れることで、子どもたちが耳を傾けたり声を出してまねしたりする姿が見られることに気づいた。正確さを求めず、音の楽しさを感じる体験を大切にすることで、興味・関心が高まっていることが分かった。また、野菜や果物といった身近な題材を取り入れることで、より多くの子どもが関心を示し、単語が短く分かりやすいことから低月齢の子どもでも発声しようとする姿が見られるなど、発達に応じた関わりの広がりにも気づいた。

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区千石3丁目131
施設名	カメラキッズ千石園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

リズム運動を取り入れた

〈テーマの設定理由〉

歌やリズム遊びに合わせて体を動かすことを楽しむ姿が見られた。リズムに合わせた動き（跳ぶ・歩く・回る）をサーキットで行うことで、リズム感や集中力を高め、音と動きの結びつきを体験的に深めたいと考え、本テーマを設定した。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・週1回程度実施

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

スピーカー・マット・オーガンジー・手作りの段差ブロック・記録用カメラ・ジョイントマット

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

音楽に合わせてジャンプやステップを行い、リズム感を意識したサーキットを実施した。手拍子や掛け声でタイミングを意識する工夫も加えた。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

音楽に合わせて体を揺らしながら、手をたたいたりジャンプしたりと、それぞれのペースで表現する姿が見られた。「いっしょ!」「もういっかい!」と友だち同士で声を掛け合い、タイミングを合わせようとする様子もあった。また、講師や保育者の動きをまねしながら安心して参加し「たのしいね」「おどろう」といったやりとりを通して関わりを深めていた。笑顔や歓声が自然にあふれ、講師や保育者、友だちと目を合わせてうれしさを共有するなど、音楽を通して心地よい一体感を感じながら活動を楽しんでいた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

音楽やリズムの要素を取り入れることで子どもたちの意欲や表現力が高まり、活動への満足度が向上していることに気づいた。表情や動きから楽しさを感じている様子が見られ、音楽を通じた活動が主体的な関わりや表現力の育ちに効果的であることを再認識した。また、オーガンジーを使った活動では、引っ張る動きを通して力加減を考えながら手を使う姿が見られたほか、頭にかぶるなど遊びを発展させ、講師や保育者、友だちとのやり取りを楽しむ様子も見られ、子どもたちが自ら遊びを広げていく力が育っていることに気づいた。